

冬に流行する感染症に気を付けましょう！

空気が乾燥する冬には、インフルエンザウイルスやノロウイルスによる感染症が流行しやすくなります。感染すると、場合によっては重症化することもあるので注意が必要です。

	インフルエンザウイルス	ノロウイルス
症状	突然の高熱（38℃以上）、頭痛、筋肉痛、のどの痛み、鼻水、嘔吐・下痢など	吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱（38℃以下）など
特徴	高齢者は肺炎、小児は肺炎や脳症を併発することもある	高齢者や乳幼児などは重症化しやすい
主な感染経路	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者の咳やくしゃみを吸い込む ・ウイルスに汚染されたものに触れた手指を介して感染 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染されたものに触れた手指を介してウイルスが口に入る ・ウイルスに汚染された食品を食べる ・感染者のおう吐物などが気化したものを吸い込む
予防方法	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種を受ける ・咳エチケット※を心掛ける ・適度な湿度を保持する ・十分な休養とバランスのとれた栄養摂取 ・人混みや繁華街への外出を控える ・外出後の手洗いを心掛ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いをしっかり行う ・ウイルスの感染の恐れのある二枚貝などの食品は中までしっかり加熱処理する ・ウイルスの感染の恐れのある調理器具等は、加熱処理や次亜塩素酸ナトリウム※で消毒する <p>※家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤で代用できません（使用にあたっては「使用上の注意」をよく読みましょう）</p>

※咳エチケット

- ・咳やくしゃみなどの症状がある方は、マスクを着用しましょう。
- ・咳やくしゃみをするときはティッシュなどで鼻や口を押さえましょう。
- ・使用したティッシュなどは、ごみ箱に捨てましょう。
- ・咳やくしゃみをした後は、石鹸を使用して、よく手を洗いましょう。



このような通知が届いていませんか？

元気でいきいき
暮らしたい～の No.55

町民課 ☎ 088-893-1117

皆様が加入されている医療保険者より、服薬されているお薬について大事なお知らせをしています。必ず開封し、医師や薬剤師に相談してください。

①ジェネリック医薬品の差額に関するお知らせ

現在お使いの医薬品をジェネリック医薬品に変更した場合の差額をお知らせします。

☆ジェネリック医薬品とは・・・

先発医薬品（以下、「新薬」）の特許が切れた後に発売される医薬品で、新薬と同等の有効成分、効能・効果を持った安価な医薬品です。医療機関で処方される薬についてジェネリック医薬品に変更することで医療費の負担を少しでも軽減できる場合があります。病気の種類によっては、新薬での治療を必要とするものやジェネリック医薬品がない場合もあります。

②お薬の種類が多い方へのお知らせ

同じ効果の医薬品が重複していることなどをお知らせします。

2つ以上の病院からそれぞれお薬が出ていると、同じ成分のお薬があったり、お薬の飲み合わせが悪いなどの問題が起こることがあります。



★ジェネリック医薬品の使用促進や適正な服薬によって医療費の軽減につながります。

- 医薬品による副作用の防止
- 飲み忘れなどの防止による残薬の解消
- 医療費（薬剤費）の抑制
- 医療の質を落とさず自己負担額を軽減
- 被保険者や事業者の保険料の負担軽減



通知が届いたら
医師や薬剤師に
相談しましょう